

学校企画発表 内容一覧

番号	校名	内 容	部 屋
1	広島中央特別支援学校	<p>テーマ： 視覚障害のある幼児児童生徒の主体的な学びを目指して ～「学びの変革」アクション・プランを基盤にした授業づくり， 生活指導の在り方～</p>	L 1 0 2
		<p>(1) 教育研究実践報告：「視覚障害のある幼児児童生徒の主体的な学びを目指して ～「学びの変革」アクション・プランを基盤にした授業づ くり，生活指導の在り方～」</p> <p>ア 研究推進体制と研究推進計画について紹介する。 イ 研究の経過及び成果と課題について報告する。 ウ 発表内容ポスター展示</p> <p>(2) 教材・教具等の展示 ○教材・教具 便利グッズ</p> <p>(3) ワークショップ ○点字を打つ・読む体験 ○ロービジョン体験 ○視覚補助具体験</p>	
2	広島南特別支援学校	<p>テーマ：聴覚障害児の思考力を育てる指導の在り方</p>	L 1 0 4
		<p>本校では，平成 26 年度から「聴覚障害児の思考力を育てる指導の在り方」をテーマに実践研究を行っている。平成 27 年度は算数科に焦点をしぼり，1 単位時間の授業の思考プロセスを「つかむ・見通す」「追究する」「使ってみる・振り返る」とし，各過程での聴覚障害によるつまずきに対する指導・支援方法を考えた算数科授業モデルを作成した。それに基づき，今年度は，小学部・中学部・高等部において，算数・数学科を中心に，既習の知識と関連させて思考させ，考えを整理して意図的に言語化させていくことにより，思考力を育てることを目指して実践を行っている。幼稚部においては，話し合い活動において，発達段階を基にした発話内容の質的分析，発問等の教師の支援について検討し，幼児の実態に合った指導を効果的に行うことで，幼児の言語力・思考力を育てることを目指している。今回の企画発表では，研究の根拠となる理論的な説明をするとともに，実践例を紹介する。</p>	
3	尾道特別支援学校	<p>テーマ：「学びの変革」に向けた，センター的機能の実践例</p>	L 2 0 4
		<p>尾道特別支援学校では，平成 25 年度より，各教育機関との相互連携強化を目指して，学校ネットワーク体制のモデルとして，スクールサポートネットワーク（以下，SSN と言う）の取組を始めました。平成 27 年度からは，しまなみ版 SSN もスタートさせ，尾道市全体の特別支援教育の推進に向けた取組を行っています。</p> <p>本日の企画発表は，「広島版『学びの変革』アクション・プラン」をうけ，巡回相談等で行っている校内研修の内容の一部について，参加者の皆様に SSN の取組を報告するとともに，ミニホワイトボードを一人 1 枚使用して「考える，書く，伝える」という表現方法と，学び合うため「聞く，書く，共有する」活動の一例を模擬体験していただきます。支援を必要とする子供たちにとって，視覚情報の活用により効果的な話し合いになることを体験してください。市内の一般校の取組事例の報告と共に，特別支援学校においても，「言語活動を通じた授業改善」のヒントになればと思っています。ミニホワイトボード等を使用する関係で，1 時間を 2 コマに分け，1 回の参加者を 80 名までとします。</p>	

番号	校名	内 容	部 屋
4	広島特別支援学校	テーマ:「広特版学びの変革 I I C E モデル」を意識した単元計画・実践・評価をとおして	K 1 0 4
		<p>本校は広島版「学びの変革」アクションプランを受けて、「広特版学びの変革 I I C E モデル」を作成した。今年度はそれを意識した上で単元に焦点を当て、単元計画・実践・評価をとおして児童生徒の主体的な学びを育むための研究を行っている。これを進めるためのツールとして「単元シート」を作成した。単元シートは、単元における目標達成、指導内容、ねらいを「広特版学びの変革 I I C E モデル」の視点から整理するためのもので、全教員が記入を行うようにした。また、単元シートを授業研究会に取り入れれたり、単元シートを活用したグループワークなどを行ったりした。</p> <p>本発表では今年度の研究の経過と成果・課題の発表、そして単元シートの事例の報告を行っていく。</p>	
5	福山特別支援学校	テーマ: 移動手段の習得を通じた学習レディネスの向上による主体的な学びの構築	K 2 0 3
		<p>小学部の児童に対して電動車椅子で移動する練習を重ねることで、注意力・視覚認知力・集中力を高めて、その活動を成功体験として積み重ねていくことに取り組んだ。その結果、それらの力が身に付いたことや移動手段を獲得したことによって、日常生活や学習の中で「わかる・できる」ことが増えて自己肯定感が大きく向上した。</p> <p>そして、これらの指導を継続する中で、より主体的に電動車椅子の操作や日々の学習に取り組むようになり、注意力や集中力等がさらに向上するといった好循環が生まれ、主体的な学びの構築に至った事例を報告する。</p> <p>主体的な学びを構築するためには、的確な実態把握に基づいた学習レディネスを向上させるアプローチが有効であると考えます。</p>	
6	呉特別支援学校	テーマ: 分かって動ける授業づくり, 動きを促す授業づくりの推進	L 1 0 7
		<p>本校では平成 26 年度から「分かって動ける授業づくり, 動きを促す授業づくり」をテーマとして研究を推進し、今年度はその三年次にあたる。</p> <p>この三年間の教育研究の成果のまとめ、及び公開授業研究会での授業を発表する。</p> <p>本校の研究成果の発表 公開授業研究会 授業 V T R 鑑賞・グループ協議 「中学部・作業学習(紙漉き)」 発表</p>	

番号	校名	内 容	部 屋
7	広島市立広島特別支援学校	<p>テーマ：「自立と社会参加を目指した『わかる』『できる』日常生活の指導」～朝の活動の実践（小学部第2学年）を通して～</p> <p>本校は、今年度11月2日に開催された、第57回広島県特別支援教育研究大会並びに平成28年度広島県特別支援教育校長研修大会において、第1分科会として授業を公開し、研究発表を行った。ここでは、「自立と社会参加を目指した『わかる』『できる』日常生活の指導」というテーマで進めている本校の研究と、実践事例として小学部第2学年の取組について報告する。</p> <p>（1）本校の研究について</p> <p>本校では、児童生徒の自立と社会参加を目指し、環境づくりに視点を当てた日常生活の指導の授業づくりを行っている。環境づくりには、物理的支援環境と人的支援環境があり、支援ツールの効果的な配置や活用、教師や児童生徒の役割を整理することで、児童生徒が「わかる」「できる」授業を目指している。</p> <p>（2）小学部第2学年の取組について</p> <p>日常生活の指導に当たっては、日々の生活に見通しをもって自主的・目的的に取り組み、様々な課題を解決していく力を育てていきたいと考える。児童一人一人の実態に合わせて、自分で分かって動ける支援の方法を考え、学校での生活が家庭での生活に汎化できるように、保護者と連携を図り指導を行っている。</p>	K108

- A 学士会館 2 階レセプションホール
 B 学士会館 2 階ロビー
 C サタケメモリアルホールエントランス

ポスターセッション 内容一覧

番号	校名	内 容	会場
1	広島中央特別支援学校	テーマ：「視覚障害のある幼児児童生徒の主体的な学びを目指して ～「学びの変革」アクション・プランを 基盤にした授業づくり，生活指導の在り方～」	A
		本校では，目指す幼児児童生徒像を「自らの生き方を考え，目標に向かって，ねばり強く努力する人間」と掲げ，視覚障害のある幼児児童生徒の主体的な学びを目指している。平成 27 年度から広島中央特別支援学校「学びの変革」アクション・プランを策定している。体験的な学習の充実，言語活動の充実の 2 点を視覚障害教育での基本とし，課題発見・解決学習の授業づくりや生活指導に取り組んでいる。学習過程を充実させるために，I C E モデルの考え方を取り入れた授業づくりや生活指導をしている。また，教科指導の中では，パフォーマンス課題を設定することで，幼児児童生徒が学習に対して必然性を持ち，主体的に課題を解決していくことができるよう取り組んだ。その成果と課題を報告する。	
2	広島南特別支援学校	テーマ：「聴覚障害児の主体的な学びを促す環境づくりについて」	A
		聴覚障害のある幼児児童生徒の能動的かつ深い学びを促すためには，聴覚障害の特性の把握とそれに基づいた環境整備が重要である。そこで，本セッションでは重度聴覚障害児の聞こえ方の一例を紹介するとともに，その聞こえにくさを補うための手段の一つである補聴器による聞こえを体験していただく。	
3	尾道特別支援学校	テーマ：「主体的な学習を育む『おのみち検定』」	A
		本校では作業学習において，清掃と接客の検定を，個の実態に応じて編成したグループで実施しました。今年度からは年二回計画し，一回目の検定で自分の課題を具体的に理解（発見）した後，「できた！」「もっとこうしたい！」という学習意欲をもって，二回目の検定に向けて自ら課題に向かって取り組んでいます。 中学部・高等部の作業学習の系統性を考え，「技能検定」を基準に評価基準を作成しています。本ポスターセッションでは，目的・目標をはじめ，これまでの実施経過，検定の様子や，検定で使用される評価基準や教材教具も紹介します。	
4	尾道特別支援学校 しまなみ分校	テーマ：「しまなみ分校アクションプランへの取組と実践」	A
		しまなみ分校では，今年度，改めて卒業を見据えた各学部での育てたい子供像について職員全員で見直しを行いました。その中で，本校の研究テーマに掲げている「分かって動ける授業づくり」とアクションプランにある「主体的な学び」について議論し，授業観察シートを作成し，授業改善に取り組んでいます。今回の発表では，これまでの取組の流れと実践事例についてお伝えします。	
5	広島特別支援学校	テーマ：「地域とつながる広特版学びの変革 I I C E モデルの実践」	A
		本校の取組を 3 点発表します。1 点目は，身に付けた意欲や能力を活用して開店する「緑と大地のくらカフェ」，2 点目は技能検定で得た知識や技術を下学部の児童生徒に指導，3 点目は花で本校と地域とのつながりを密にし，倉掛の街を花でいっぱいにする「倉掛夢 花プロジェクト」という取組です。ポスターセッションでは，これらの取組を本校が広島県学びの変革アクションプランを踏まえて作成した「広特版学びの変革 I I C E モデル」に沿って発表します。	

番号	校名	内 容	会場
6	福山特別支援学校	テーマ：福山特別支援学校「学びの变革 アクション・プラン」	A
		<p>本校では、目指す児童生徒像の実現のために、各学部・学年・分掌・寄宿舍等が相互に連携することで、「主体的な学び」の視点に基づいて取組を進めている。</p> <p>今回は、福山特別支援学校版「学びの变革 アクション・プラン」の概要の説明と、それに関わる主体的な学びを目指した実践事例を発表、公開し、本校の主体的な学びの取組について紹介する。</p>	
7	西条特別支援学校	テーマ：「肢体不自由のある児童が主体的に学び、表現するための音楽科指導の工夫」	A
		<p>肢体不自由のある児童は、感覚や認知の困難、動作の困難、経験不足などの障害特性等がある。そのため、主体的に学ぶことが難しい。</p> <p>音楽科においては、特に、このように表現したい、という「思い」をもち、それらを表現に変えることが難しい。そこで、主体的に「思い」をもって表現するための、動作の精選・代替え、指導内容の精選、継次的な全体像の組立てなどの、障害特性等に応じた指導・支援方法の工夫を紹介する。</p>	
8	西条特別支援学校 八本松分級	テーマ：「考え・工夫する教育の実践 ～八本松分級におけるアクティブラーニング～」	A
		<p>八本松分級における「学びの变革」の遂行イメージと実践例を紹介するとともに、八本松分級の「アクティブラーニング」の考え方を提示します。</p> <p>この場の説明者はありませんが、重度重複障害のある児童生徒の「アクティブラーニング」の考え方、実践例やあるべき姿について、参加者の皆様からの御意見等がいただけると幸いです。</p>	
9	広島西特別支援学校	テーマ：「広島西特支版「学びの变革」アクションプラン ～病弱児の主体的な学びを引き出すICTの活用～」	A
		<ul style="list-style-type: none"> ・病気による行動制限による経験・体験不足による低い社会性スキルと学習レディネスの不十分さ、障害による身体活動の制限、入院により自由に外出できない等病弱児の様々な制限をICTの活用によって軽減し、児童生徒の主体的な学習を進めている。 ・Skypeやロボット等のICTを活用した学習により、自ら考え、自ら行動「できた」という実感が自己肯定感を高め、主体的に学習に取り組むことができた実践例を中心に発表する。 	
10	廿日市特別支援学校	テーマ：「廿日市特別支援学校版『学びの变革』アクション・プラン」	A
		<p>これまで取り組んできたキャリア教育を踏まえ、日々の授業の指導略案の様式を変更し、この指導略案の活用による授業改善を通して、児童生徒のコンピテンシー（課題への対処能力）の育成を図る。具体的には、心（意識、意欲、主体性）が育ち、知識、行動の質が高まるための観点を、本校の名称である「は・つ・か・い・ち」を頭文字として「は（働く力）」「つ（つくる）」「か（活用）」「い（意欲）」「ち（知識）」の5つの観点から授業づくりを行う。授業展開については、「目標の提示」「活動」「振り返り」「次時の目標の意識化」を図るとともに、授業者がA P D C Aサイクルを繰り返すことにより、授業改善を図っていく。</p>	
11	福山北特別支援学校	テーマ：「マナテン ～フッキ 版学びの变革 10 例～」	B
		<p>昨年度、実践を通して見つけた学びの变革のポイント（マナヘンポイント）。今年度は、これらのポイントを生かした取組について、小学部・中学部・高等部の10例の実践事例を挙げながらご紹介します。学びの变革について一緒に考えてみましょう。</p>	

番号	校名	内 容	会場
1 2	三原特別支援学校	テーマ：「三原特支教員の『学びの变革』」 ～本校における新たな教育研究方法について～	B
		今年度、新たに各分掌や各学年より選出された委員によって構成された『授業づくり委員会』を立ち上げ教育研究を行っている。 このポスター発表では、「学びの变革」を基軸とする『授業づくり委員会』の変遷や取組、研究内容について紹介する。	
1 3	三原特別支援学校 大崎分教室	テーマ：「大崎分教室版「学びの变革」アクション・プランに関する取組」	B
		・学習したことを活かして、地域で行っている実践（月1カフェ、リヤカーカフェ、出張カフェ、レモン畑の管理手伝い、清掃活動、小学生への指導 など）やALTとの異文化交流、作業学習での協働的な学びなど大崎分教室の取組について紹介します。	
1 4	呉特別支援学校	テーマ：「呉特支版『学びの变革』に関する取組」	B
		1 呉特支版「学びの变革」について 2 広島版「学びの变革」アクションプランに関する本校の取組 3 主体性を引き出す授業づくり～各学部の実践事例～ 今年度本校で行ってきた「学びの变革」に関する様々な取組を報告いたします。	
1 5	呉特別支援学校 江能分級	テーマ：「卒業後の生活が意識できる、児童生徒の学びの実現に向けて ～分かって、伝え、行動できる授業づくり～」	B
		本校では、昨年度より「卒業後の生活が意識できる、児童生徒の学びの実現に向けて～分かって、伝え、行動できる授業づくり～」という研究主題で、教育活動を行っている。この研究主題は、「卒業後の目指す姿という目標から逆算し、学習者基点の主体的な授業の設計をしていく」ことであると考え。 そこで本発表では、今年度、研究主題に沿って、小学部・中学部・高等部、それぞれの学部で取り組んできた実践を紹介していく。	
1 6	庄原特別支援学校	テーマ：「学びの变革アクション・プラン（食品製造グループでの商品開発）」	C
		作業学習グループ（学部縦割り）で、商品開発を行った話し合いの授業である。ここで発表する食品製造グループは、5つの作業グループの1つで、地元の特産品を使用しながらお菓子を製造・販売している。課題設定から、更なる課題解決に挑戦するまでの流れを、食品製造グループでは行っている。一年間、このサイクルを何回も繰り返し活動を行うことで、自信、学習意欲、資質能力を向上させ、主体的に学習に取り組む力をアップさせるための授業実践の報告である。	
1 7	広島北特別支援学校	テーマ：「児童生徒が分かってできるにつながるための授業づくり ～考えて動く場面設定の工夫を通して～」	C
		昨年度までの研究「児童生徒が分かって動ける授業づくり」を踏まえて、今年度は、児童生徒自身が考えて動く場面を設定し、分かって「できる」につなげるための指導の工夫に取り組んでいる。本研究は、広島版「学びの变革」アクション・プランの主体的な学び（能動的な学び・学習者基点の学び・深い学び）に結び付いている。 本校の「学びの变革」の取組として、研究の進め方や実践事例（研究授業など）を紹介する。	

番号	校名	内 容	会場
18	沼隈特別支援学校	<p>テーマ：「広島版『学びの変革』アクション・プランに関する取組」</p> <p>本校の取組みについて 全体研修会・アンケートの実施 今年度実施した課題発見・解決学習の事例紹介 高等部 作業学習メンテナンス班「校内クリーンアップ作戦」</p>	C
19	黒瀬特別支援学校	<p>テーマ：キャリア教育を基底に据えた「学びの変革」に結びつく研究活動</p> <p>平成28年度の本校の研究テーマである 児童生徒一人一人の「働く」生活を目指した授業づくりと教育課程の編成 - 意欲，主体性を高める分かって動ける授業づくり - の研究によってコンピテンシーを育む取組の道筋を明らかにしていく。 また，その取組を具体的に支える研究の蓄積，教材データの集積，実態把握など，環境整備についても紹介する。</p>	C
20	黒瀬特別支援学校 安浦分級	<p>テーマ：「成人障害者の自尊感情を高める授業づくり」 ～体験的学習における指導・支援の工夫～</p> <p>創作活動を教育活動の中心におき，生徒の自尊感情を高める教育に継続して取り組んできている。今年度は，創作活動に加えて，音楽を使った体験的学習も取り入れた教育実践を行った。これらの体験的な活動をとおして，自尊感情を高める授業づくりとその指導・支援の工夫についてまとめる。</p>	C
21	呉南特別支援学校	<p>テーマ：「学びを『活用する力』を育む授業の工夫」</p> <p>本校では，「学びを『活用する力』を育む授業の工夫」という研究テーマのもと，聴覚障害部門は「幼児児童生徒の思考力を育むために」，知的障害部門は「児童生徒の自ら課題を見つけて考えて動く力の育成」という部門のテーマで「気付く」「つなぐ」「使う」の三つのキーワードで授業に取り組んでいます。 ここでは，各学部の授業実践例について紹介します。</p>	C
22	広島市立 広島特別支援学校	<p>テーマ：「自立と社会参加を目指し，「わかる」「できる」「かかわりあう」を大切にしたい授業づくり」</p> <p>本校は，児童生徒の自立と社会参加を目指すために，環境づくりに視点を当てた日常生活の指導の授業づくりを行っています。環境づくりには，物理的支援環境と人的支援環境があり，支援ツールの効果的な配置や活用，教師や児童生徒の役割を整理することで，児童生徒が「わかる」「できる」授業を目指しています。 今回の発表では，児童生徒が「わかった」「できた」と実感し，主体的に活動に取り組む姿と，日常生活の指導における環境づくりの具体的な取組を御紹介したいと思えます。</p>	C